＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	Oita Wooden House
グループの名称	豊後　木の家ネットワーク
直近採択グループ番号	06-0294-0767

（グループ代表者）

代表者名	石田　正人　代表者印
代表者所属先	有限会社榮建リフォーム・システム
代表者所在地	大分県別府市南荘園町19組
代表者電話番号	0977-26-7744

（グループ事務局）

事務局事業者名	仲道トーヨー株式会社
事務局担当者名	中川　亜希子　印
事務局郵便番号	870-0126
事務局所在地	大分県大分市横尾768番1
事務局電話番号	097-520-3588
事務局FAX	097-520-2165
事務局担当者E-mail	a.nakagawa@nakamichi-gr.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	Oita Wooden House
２．グループの名称(必須)	豊後　木の家ネットワーク
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0294-0767
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	大分県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	石田　正人
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社榮建リフォーム・システム
８．グループ代表者所在地(必須)	大分県別府市南荘園町19組
９．グループ代表者電話番号(必須)	0977-26-7744
１０．グループ事務局事業者名(必須)	仲道トーヨー株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	中川　亜希子
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	870-0126
１３．グループ事務局所在地(必須)	大分県大分市横尾768番1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	097-520-3588
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	097-520-2165
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	a.nakagawa@nakamichi-gr.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	7	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	9	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	未経験工務店に優先的に配分し、残りを公平に配分する。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
44	Ⅰ － 9	大野郡森林組合		879-7102	大分県豊後大野市三重町菅生123番地	0977-422-1243
44	Ⅰ － 11	株式会社 九州木材市場		877-1231	大分県日田市大字三和2726-10	097-324-3625
44	Ⅰ － 12	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目南田原283番地2	0972-54-3326
45	Ⅰ － 15	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	098-636-3010
38	Ⅰ － 27	愛媛県森林組合連合会		790-0003	愛媛県松山市三番町4丁目4-1	089-941-0164
40	Ⅰ － 29	浮羽森林組合		839-1401	福岡県うきは市浮羽町朝田381番地5	094-377-2158
44	Ⅰ － 31	日田市森林組合		877-0076	大分県日田市大字庄手850番地の5	0973-23-5168
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
44	Ⅱ － 9	大野郡森林組合		879-7102	大分県豊後大野市三重町菅生123番地	0977-422-1243
44	Ⅱ － 12	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目南田原283番地2	0972-54-3326
44	Ⅱ － 18	株式会社 小田製材所		877-0082	大分県日田市日ノ出町131	097-323-8195
44	Ⅱ － 19	株式会社 武内製材所		877-0054	大分県日田市琴平町951-1	097-323-6175
40	Ⅱ － 20	有限会社 東部産業		839-1333	福岡県うきは市吉井町富永1779-1	094-375-4775
45	Ⅱ － 21	堀正製材・建設		889-1912	宮崎県北諸県郡三股町宮村2930-6	098-652-0568
44	Ⅱ － 23	株式会社 玉井木材センター		879-7761	大分県大分市中戸次5170-3	097-597-1122
38	Ⅱ － 28	株式会社 日野相互製材所		799-3111	愛媛県伊予市下吾川1626-1	089-982-0838
44	Ⅱ － 33	株式会社 ヤマサ		879-4601	大分県玖珠郡九重町右田1918-32	0973-78-8324
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
44	Ⅲ － 23	株式会社 玉井木材センター		879-7761	大分県大分市中戸次5170-3	097-597-1122
14	Ⅲ － 24	ナイス 株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
44	Ⅲ － 30	仲道トーヨー 株式会社		870-0126	大分県大分市横尾768-1	097-520-3588
44	Ⅲ － 32	大分県木材協同組合連合会		870-0004	大分県大分市王子港町1番17号	097-532-3126
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
44	Ⅳ － 23	株式会社 玉井木材センター		879-7761	大分県大分市中戸次5170-3	097-597-1122
40	Ⅳ － 25	ナイスプレカット 株式会社 九州工場		803-0802	福岡県北九州市小倉北区東港2-5-12	093-591-2888
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
44	Ｖ － 1	株式会社　林興産アイズホーム		870-0919	大分県別府市石垣東３丁目６番１２号	0977-22-2884	○	
44	Ｖ － 2	株式会社　おおいた家づくりコンシェルジュ		870-0839	大分県大分市金池南1丁目9-11　レジデンス金池1階	097-507-5611	○	
44	Ｖ － 5	大進建設　有限会社		879-1506	大分県速見郡日出町１６６１－３２	0977-72-9339	○	
44	Ｖ － 6	株式会社　大富住建		870-0003	大分県大分市生石456-2	097-534-9482	○	
44	Ｖ － 8	株式会社　榮建トータル・ハウジング		874-0904	大分県別府市南荘園町19組	0977-26-7746	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
44	Ⅵ - 1	80440	株式会社 林興産アイズホーム		870-0919	大分県別府市石垣東3丁目6番12号	0977-22-2884	○	
44	Ⅵ - 2	80446	株式会社 おおいた家づくりコンシェルジュ		870-0839	大分県大分市金池南1丁目9-11 レジデンス金池1階	097-507-5611	○	
44	Ⅵ - 3	80471	住想		870-1155	大分県大分市大字玉沢335番地の3	097-541-1840	○	
44	Ⅵ - 4	80493	有限会社 三和住宅		874-0922	大分県別府市船小路21番	0977-26-3839	○	
44	Ⅵ - 5	80475	大進建設 有限会社		879-1506	大分県速見郡日出町1661－32	0977-72-9339	○	
44	Ⅵ - 6	80459	株式会社 大富住建		870-0003	大分県大分市生石456-2	097-534-9482	○	
44	Ⅵ - 7	80495	有限会社 榮建リフォーム・システム		874-0904	大分県別府市南荘園町19組	0977-26-7744	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
44	Ⅵ－ 1	80440	株式会社 林興産アイズホーム	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	4以上			○
44	Ⅵ－ 2	80446	株式会社 おおいた家づくりコンシェルジュ	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
44	Ⅵ－ 3	80471	住想	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
44	Ⅵ－ 4	80493	有限会社 三和住宅	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
44	Ⅵ－ 5	80475	大進建設 有限会社	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
44	Ⅵ－ 6	80459	株式会社 大富住建	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
44	Ⅵ－ 7	80495	有限会社 榮建リフォーム・システム	30 戸	30 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下			○
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）Oita Wooden House	（地域型住宅供給対象地域）大分県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）豊後　木の家ネットワーク	（結成年）2015　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0294-0767	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	電力不足、高温多湿な気候に対応した家　⇒大 分県は比較的温暖だが、夏は猛暑日も続く地域の為、省エネルギー性能を重視し、平成25年度省エネ基準以上の性能とする。 ・地震に強い家 ⇒大分県は南海ﾄﾗﾌ地震防災対策地域に指定されており、地震に強い家を作る必要がある。その対策として耐震性を考慮した住宅を団体として目指して行く。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・夏の暑さ、西日に対応した家　⇒西 側の開口部、また遮熱に有効な開口部にLow-Eガラスを採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・大気汚染物質に対応した家　⇒粉 塵カット部材が設置可能な換気口には粉塵カット部材を取り付ける。 ⇒室内に物干しスペースを設ける。または、物干しユニットを取り付ける。	◎
④ ①～③の背景	①東日本大震災以降、九州地区の電力不足が深刻化し省エネルギー対策が課題となっている。又、大分県は年間平均気温が16℃～17℃と温暖と温暖だが猛暑日が続く地域の為、暑さ対策をする必要がある。また、大分県は南海ﾄﾗﾌ地震防災対策地域に指定されている為、地震対策をする必要がある。 ②大分県では年間日照時間が2000時間を超えており、特に夏の西日対策が必要である。 ③近年、九州では「黄砂」や「PM2.5」などの大気汚染物質の飛来が問題となっている為、室内に大気汚染物質が侵入しないような対策が必要である。また、大気汚染物質が原因で屋外に洗濯物を干せない場合もある為、対策が必要である。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・ｸﾞﾙｰﾌﾟ活動を通して、施工構成員の全社が認定低炭素住宅を標準仕様とすることを目指す。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：地域型住宅の「標準仕様書」作成し、効率的に打合せが出来るようにする。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：省エネ機器はメーカーとシリーズを共通化する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：標準仕様書を作成し、外皮計算や一次エネルギー消費量計算の合理化につなげる。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・ｸﾞﾙｰﾌﾟで使用する建材・資材の共同化を図り、建材流通構成員が中心となりﾒｰｶｰと価格交渉をすることによってｺｽﾄﾀﾞｳﾝを図る。⇒未経験工務店にも調達し易くする。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：標準仕様に基づく省エネ機器等は、発注書を統一して誤発注を防止する。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・委員会の招集や、政策制度の情報発信。各種申請手続きを行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：・委員会の招集や、政策制度の情報発信。各種申請手続きを行う。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：・フラット35Sの施工基準を標準とすることを目指し、ｸﾞﾙｰﾌﾟの信頼性向上につなげる。 ⇒その為に、定期勉強会を開催し構成員全体の施工基準のﾚﾍﾞﾙｱｯﾌﾟをしていく。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：引き渡し時に施主とともに現場立ち会いを行い、契約内容の履行確認を行う。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：・「標準見積書」（表紙）を作成し、施工業者の見積り項目を統一する。また、一式見積りではなく、ﾒｰｶｰ・品番・定価などを表示するようにし、消費者の信頼性向上を図る。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：・建築途中の現場（構造躯体の見える）案内や、完成現場見学会をして消費者の信頼性向上を図る。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：グループ会での推進	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：グループ会での推進	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：会員各社加入済	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：グループ会での安全大会開催	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		2020年までに平成25年省エネ基準に必要な計算等を各施工構成員が自社で出来るようにする。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）Oita Wooden House	（地域型住宅供給対象地域）大分県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）豊後　木の家ネットワーク	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0294-0767	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・第三者の住宅情報履歴機関（いえかるて等）へ登録し管理する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：・点検時期を登録し、該当時期にメールで通知するシステムを利用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・事務局にIDを届け出てもらい、いつでも確認できる体制を整える。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・ｸﾞﾙｰﾌﾟの標準「点検項目ﾁｪｯｸｼｰﾄ」を作成し引き渡し後の定期的な点検を推奨する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・補修工事を行った時には、見積書・図面・写真等の記録を履歴情報に登録する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・事務局のIDにより、点検結果の履歴情報を確認する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・ﾘﾌｫｰﾑ相談会等を開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・木工教室等を開催する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・ｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ教室等を開催する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：・ｸﾞﾙｰﾌﾟ内で維持管理検討委員会を設置する。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：・瑕疵保険会社に依頼し、年に一回勉強会を開催する。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：事務局に「相談窓口」を設置し、代替業者の斡旋や紹介を行う。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：年に一回勉強会を開催する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			・災害等が起きた時に、当ｸﾞﾙｰﾌﾟ施工構成員のﾕｰｻﾞｰへの対応（早期復旧や生活支援等）をｸﾞﾙｰﾌﾟ全体で出来るような体制作りを目指す。			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・補助対象現場を利用し、未経験事業者向けに現場研修を行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・ｸﾞﾙｰﾌﾟでの現場管理ﾙｰﾙを作り、品質の向上につなげる。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・事務局による定期的な現場点検。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：・2020年までに施工構成員の全社が認定低炭素住宅を標準仕様とすることを目指す。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：・省エネ義務化を4年後に控え、外皮やエネルギー計算の講習を会員に周知する。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：・設計構成員は適合証の申請が行えるスキルを習得するよう取り組む。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　8		今年度の参加目標人数　5	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　11		今年度の参加目標人数　5	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・事務局より構成員に対して「省エネ技術講習会」の開催日時の通知を行う。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：・「蓄電池」等の商品を積極的にとりいれ、定期点検等を通して、その効果を検証する。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：・「新商品」「新工法」を取り入れた現場で研修会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			・2020年の省エネ義務化に対応できる団体を目指す。			◎

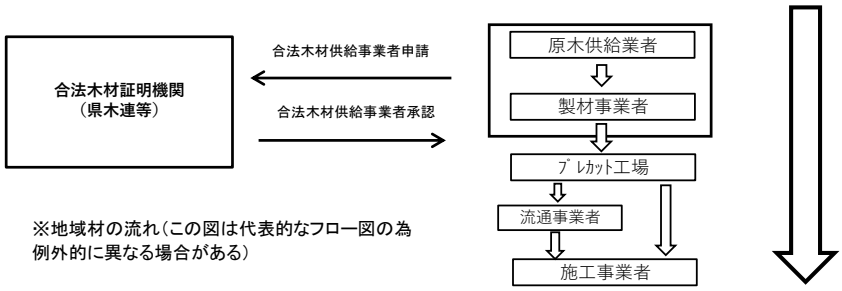
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）Oita Wooden House	（地域型住宅供給対象地域）大分県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）豊後　木の家ネットワーク	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0294-0767	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・土台は合法木材証明制度（国内）の桧を使用する。 桧は合法木材証明制度（国内）の杉及び、合法木材証明制度（国内）の桧の乾燥材を使用する。 梁、桁は合法木材証明制度(国内）の杉の乾燥材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	 ※地域材の流れ（この図は代表的なフロー図の為例外的に異なる場合がある）	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が主導となり在庫量等の情報発信を行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が主導となり価格相場を確認し構成員に対し情報発信を行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　年間着工予定数の把握をす	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の使用予定枚数（1畳換算）　270枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の使用予定枚数：600坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の使用予定枚数（3×6換算）　100枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の使用予定枚数（3×6換算）　100枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　和室・ﾀﾀﾐｺｰﾅｰを推奨する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　・住まい手に対し、地域の隣保班や自治会等の紹介を行う。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　・分譲地では外観に関するﾙｰﾙを設定する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・将来的に主要構造材の90%以上を国産材を使用し、国産材の普及活動に貢献する。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・ｸﾞﾙｰﾌﾟで募金活動を行い、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体に寄付をする。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・当ｸﾞﾙｰﾌﾟの活動地域は大分県で被災地でもある為、大分県の復興活動を支援する。　・大分県産材や熊本県産材を積極的に取り入れる。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

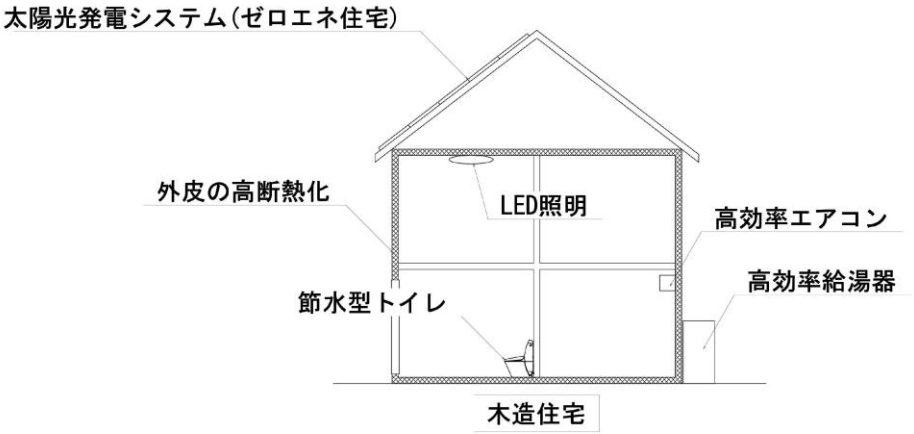
１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）Oita Wooden House	（地域型住宅供給対象地域）大分県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）豊後　木の家ネットワーク	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0294-0767	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【　高度省エネ型住宅仕様　】
・高性能断熱
・高断熱サッシ
・LED照明
・高効率給湯器
・高効率エアコン
・UA値=0.6以下
・太陽光発電（ゼロエネ住宅）
・R0値=20%以上（ゼロエネ住宅）
・BELS認証を受ける（ゼロエネ住宅）

高度省エネ型住宅のイメージ



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。